

**令和元年度「教員の個人業績評価結果」
に関する報告書**

令和3年 1 月

大学評価室

1. 教員の個人業績評価の実施結果 [2019 年度]

対象部局	在職教員数	評価除外者数	評価対象教員数	実施教員数	評価実施率
学部・大学院	517	87	430	399	92.8%
その他部局	253	53	200	147	73.5%
合計	770	140	630	546	86.7%

※在職教員数とは、当該年度3月31日現在の教員数を示す。

※評価除外者数とは、在籍期間が1年に満たない教員数（新規・中途採用、退職・転出等が明らかな教員）、部局等の長、テニュアトラック教員、特命教員及び寄附講座等教員、年俸制教員を示す。

※実施教員数とは、教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員数を示す。

※評価実施率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

2. 教員の個人業績評価の集計方法

教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員を示す「実施教員数」のデータを使用して、クロス集計及び傾向等の分析を行う。

対象とした部局は、表1のとおり。ただし、「2019年度の評価実施率が25%未満の部局」又は「評価対象教員数が5名未満の部局」については、評価結果を表示しないものとする。

表1 評価対象部局

対象部局	2019年度
学部・大学院	地域学部 医学部 医学系研究科 工学部 農学部
その他部局	乾燥地研究センター 教育支援・国際交流推進機構 研究推進機構 総合メディア基盤センター 医学部附属病院

- 教員の自己評価及び評価者の評価結果とは、以下の区分及び判断基準を使用したものである（表2）。

表2 自己評価及び評価結果の判断基準

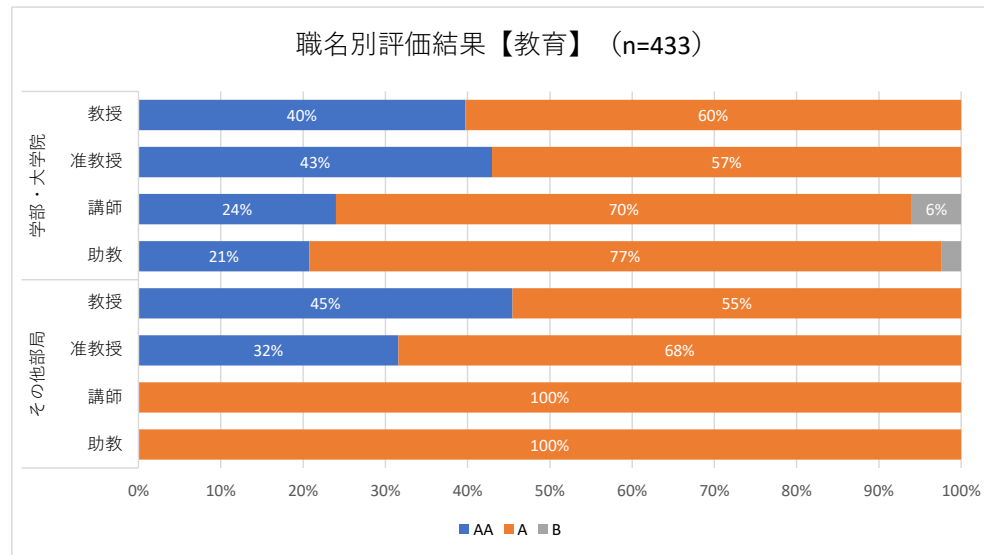
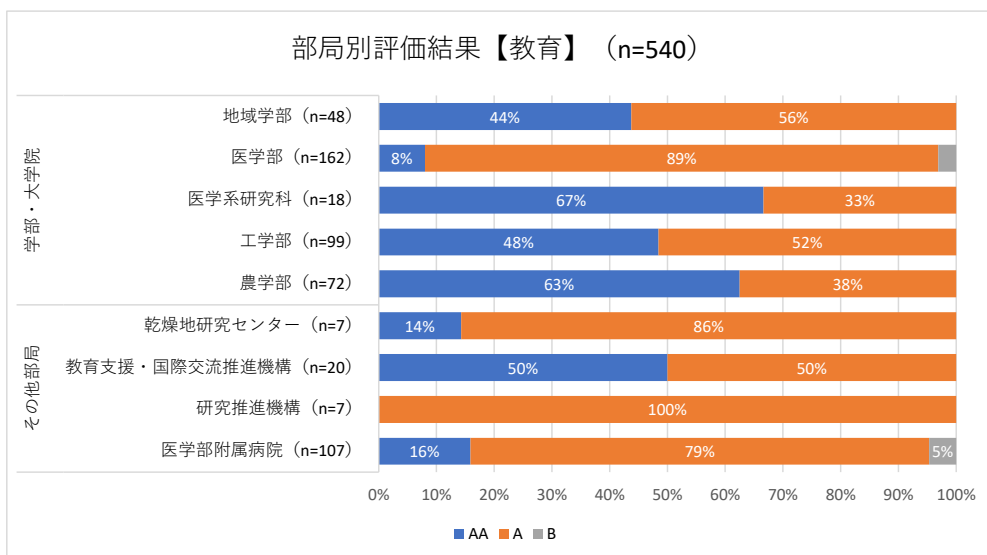
区分	判断基準
AA	活動実績について十分満足できる
A	活動実績について満足できる
B	活動実績について満足できない

3. 評価者の評価結果 [2019 年度]

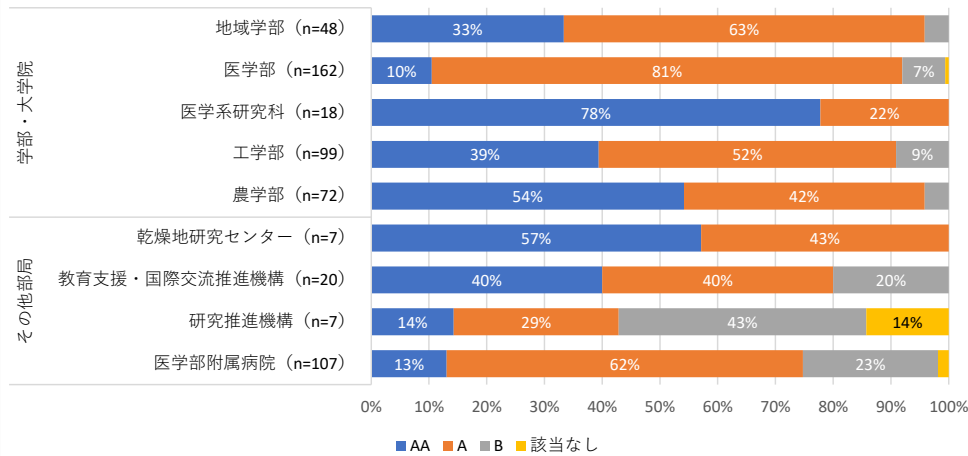
2019 年度において、評価者が判定した評価結果を部局別及び職名別に示す。

ただし、職名別評価結果の【教育】【研究】【社会貢献・国際交流】【管理・運営】については、医学部附属病院を除く。

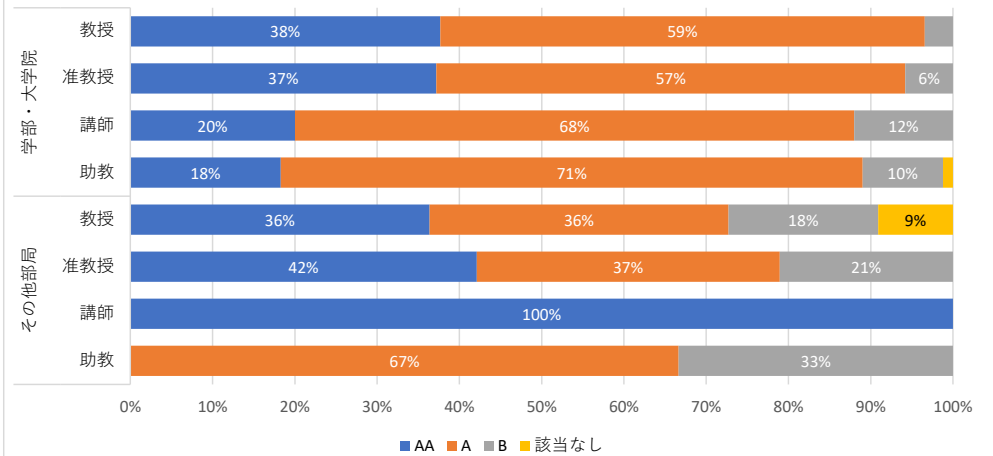
- ※ **【教育】** 医学系研究科、農学部及び教育支援・国際交流推進機構では 5 割以上の教員で評価が高く、職名別では教授や准教授において評価が高い。
- ※ **【研究】** 医学系研究科、農学部及び乾燥地研究センターでは 5 割以上の教員で評価が高いが、研究推進機構では 4 割以上で評価が低い。職名別では、教育と同様に教授や准教授において評価が高いが、全体的に教育よりも B の割合が多い。また、職位が下がるにつれて B が増加する傾向にあり、その他部局の方が学部・大学院よりも顕著である（ただし講師を除く）。
- ※ **【社会貢献・国際交流】** 地域学部、医学系研究科及び農学部では 4 割以上の教員で評価が高いが、その他部局では該当なしの割合が一定数みられる。職名別では、学部・大学院において職位が上がるにつれて評価が高くなる傾向にある。その他部局において、教授及び准教授における該当なしは学部・大学院の助教と同程度であるが、講師及び助教においては全員が何かしらの社会貢献・国際交流活動に取り組んでいる。
- ※ **【管理・運営】** 地域学部及び農学部では 4 割以上の教員で評価が高いが、医学系研究科及び医学部附属病院では 2 割以上が該当なしである。職名別では、社会貢献・国際交流と同様に学部・大学院において職位が上がるにつれて評価が高くなる傾向にあり、教授では 4 割以上で評価が高い。その他部局において、学部・大学院とは反対に職位が下がるにつれて評価が高くなる傾向にあり、助教では 3 割以上で評価が高い。
- ※ **【診療】** 医学部附属病院では 3 割以上の教員で評価が高く、職名別では、診療に携わっている教員（その他部局の講師や助教）の 3 割以上で評価が高い。



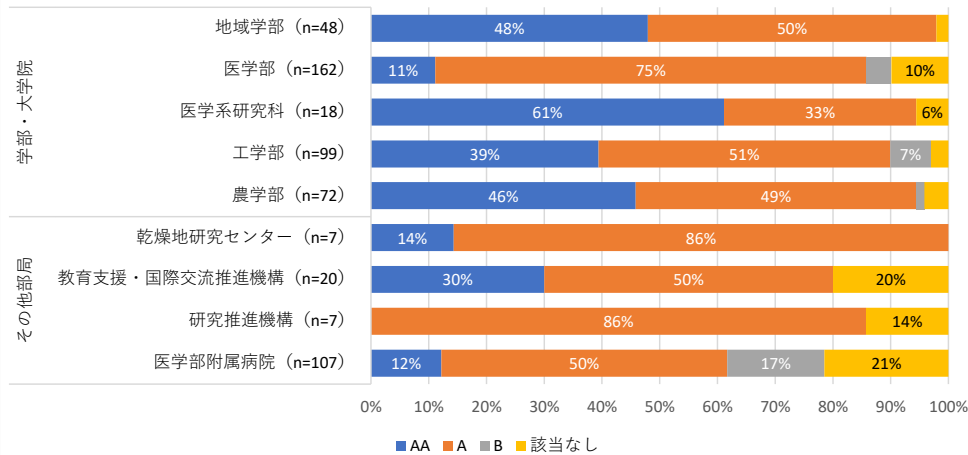
部局別評価結果【研究】 (n=540)



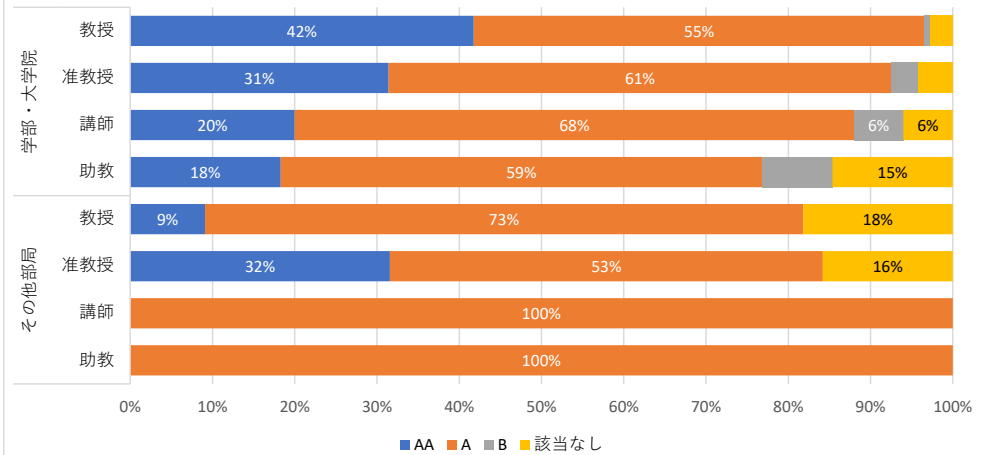
職名別評価結果【研究】 (n=433)

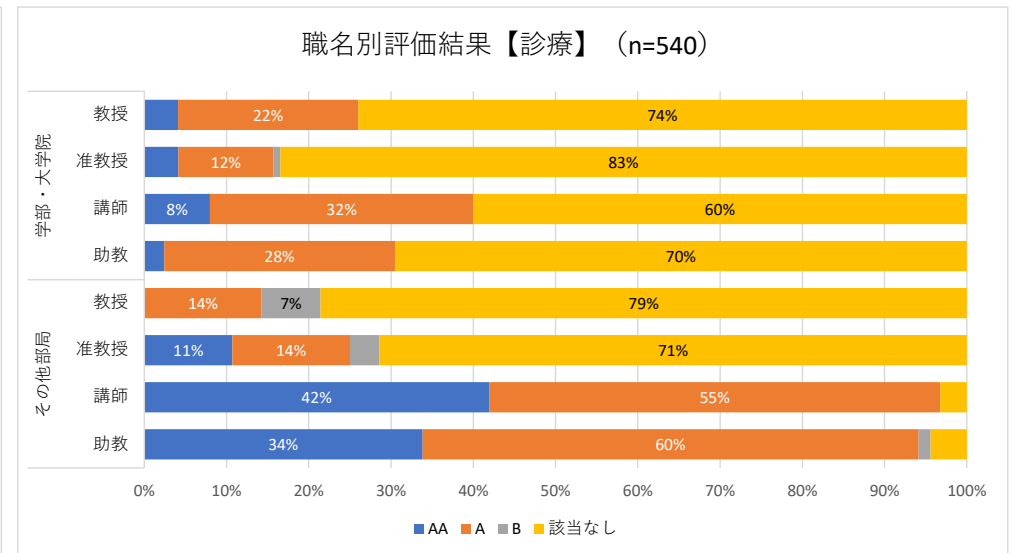
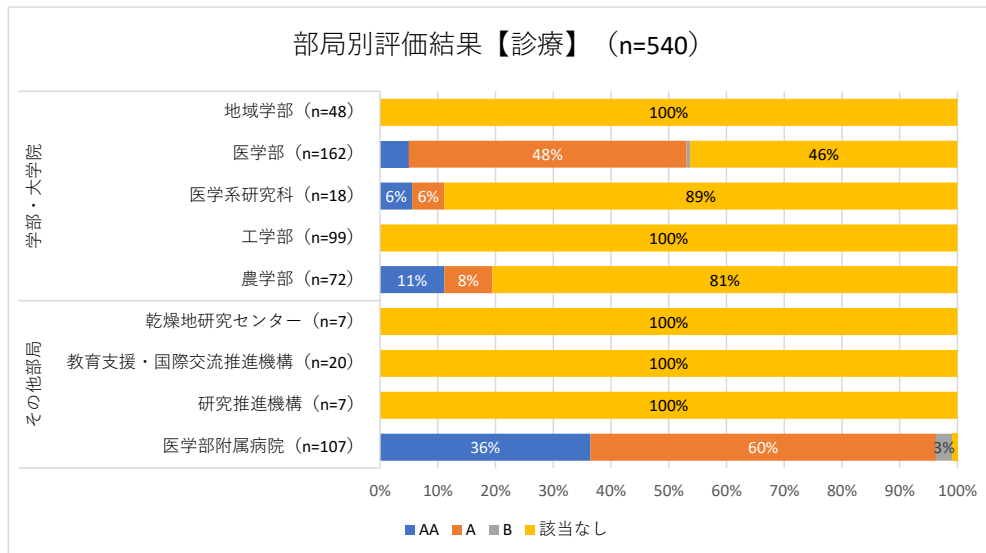
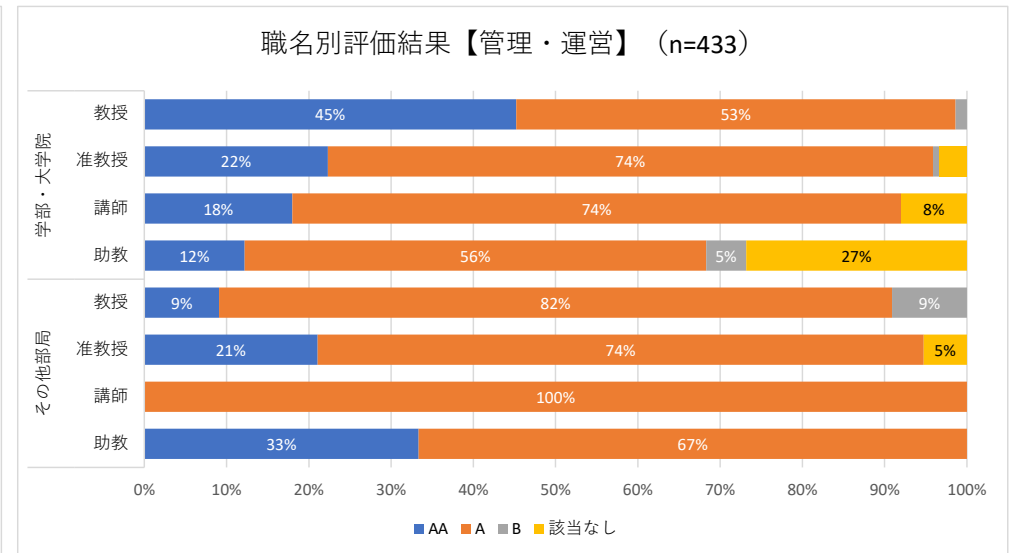
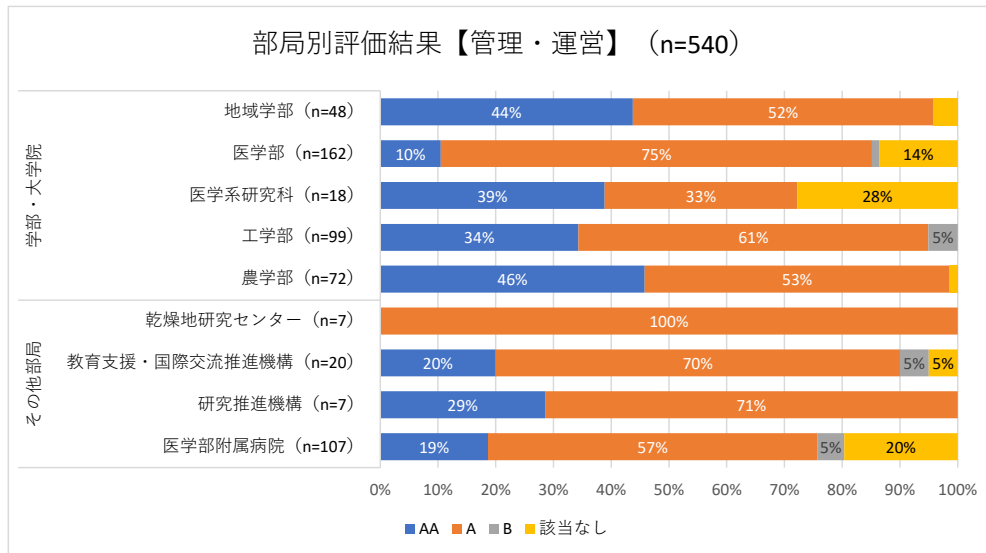


部局別評価結果【社会貢献・国際交流】 (n=540)



職名別評価結果【社会貢献・国際交流】 (n=433)





※評価結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入して表示。